

～地域密着の郵政事業の振興に尽力～

故河崎浩一さん(美国町)に 瑞宝双光章が贈られる



平成21年3月11日、72歳で亡くなられた元美国郵便局長河崎浩一

さん(美国町)に3月11日付けで、瑞宝双光章が贈られ、8月11日、自宅で杉本厚喜美国郵便局長から妻芳枝さんに勲記と勲章が伝達されました。
河崎さんは、昭和33年に美国郵便局に奉職以来46年の長きにわたり、郵政事業の発展と振興に尽力されました。
また、平成7年から平成17年

までの10年間は教育委員長として、平成15年から4年間は東浦自治会長として、当時の教育や地域の振興に貢献されました。



長年にわたるご功績を称え、皆さんとともに心からご冥福をお祈り申し上げます。

一巡視船「えさん」に乗って一 余別・入舸・日司・野塚・幌武意小学校 20人の小学生が海洋環境を勉強!

8月11日美しい海を守るため、小樽海上保安部(村田織彦部長)の「海洋環境教室」が開かれ、積丹町から小学生20人と引率者8人が参加しました。

「海洋環境教室」は小樽沖合を進む同部所属の巡視船「えさん」(1,000ト・乗組員30名・池寄哲朗船長)内で行われ、海上保安部の役割の説明や洗剤、汚れた水、水道水などの汚れの度合いを調べる水質検査、そして普段見ることができないブリッジや操舵室を見学する巡視船探検が行われました。昼食は

船内の船員食堂で作ったカレーライスを食べました。
参加した児童たちは、「海洋環境を学んだことで、積丹の海をきれいに守らなければいけない」と思ったと話していました。



故美国小 石森教諭夫人(札幌在住)が 美国中野球部に用具を寄贈

昭和49年に美国少年スポーツ愛好会(後の美国野球スポーツ少年団)を結成し、少年野球の指導に情熱をかけられた故石森章さんの妻光子さん(75歳)が美国中学校野球部へ野球道具を寄付しました。



故石森章さんは昭和46年4月から昭和57年3月までの11年間、美国小学校に勤務し、その間、野球の楽しさ、そして仲間づくりを経験させたいという思いで、子供たちに野球の指導を行って来ました。石森先生は、退職の年にガンに倒れ、68歳で他界されました。
積丹町を「第二のふるさと」と懐かしむ光子さんは野球少年団チームが無い今、美国中野球

部で野球用具に不自由していることを聞き、寄付金を届けられました。
美国中野球部では早速、野球用具を寄付金で購入し、部員18人は感謝の気持ちを色紙に込め、光子さんに贈りました。



美国中野球部では早速、野球用具を寄付金で購入し、部員18人は感謝の気持ちを色紙に込め、光子さんに贈りました。

『あいさつは 今日から始まる 出発点』 ■標語の部■ 小原百花さん(入舸小6年)が銅賞に

今年の「社会を明るくする運動」が全国で展開される中、7月22日に入舸会館で積丹町住民集会が開かれ、同運動の一環として行われている小中学生の標語の募集で入選した町内の児童生徒11人に対する表彰式が行われました。

また、28日に余市町中央公民館で行われた北後志住民集会では、北後志管内の児童生徒から

応募された標語、作文の作品の表彰式が行われ、当町からは入舸小学校6年生小原百花さんの作品が銅賞に入選しました。

